

所属・資格 社会学科・教授

申請者氏名 中瀬 剛丸

研究課題		大学生の人生デザインのあり方と方法に関する実践的研究
報告の概要	研究目的 および 研究概要	自らの進路を選択する能力・態度を育てるキャリア教育は、大学においても重要な課題となっている。本研究では、大学生が自分の価値観にあった職業を考えたいと就職活動に取り組むようになるためには、どのようなタイミングでどのような情報を提供することが有効かについて分析・考察した。具体的には「キャリアデザイン」の授業に対する履修生の感想の分析を行い、講義形式の授業で取り上げる項目の選択やゲスト講師の人選について考察するとともに、長期的な視点で自分のこれからの人生について考えることを促す試みの可能性について検証した。
	研究の結果	「キャリアデザイン」の授業に対する感想の分析は、これまでの授業内容の変遷に沿って特徴のある3年分を対象とした。自由記述の内容を分析した結果、将来の職業や志望企業の選択に関する思い込みが学生の選択の幅を狭めていること、仕事や企業についての基礎的な知識や仕事を選ぶ視点に関する知識が思い込みからの脱却につながることなどの知見を得た。その上で、主体的なキャリア形成のために仕事や企業についての思い込みからの脱却を促すことが、大学でのキャリア教育科目の意義の一つになることを見出した。 これからの人生について考えることを促す試みとして、別の授業の履修生などに「死ぬまでにやりたいこと」を問いかける調査を行った。その結果、旅行やスポーツなど、やろうと思えばすぐにでも実現できることが多く上がり、「死ぬまでに」という言葉への反応は少なかった。その調査結果を学生にフィードバックしたところ、長期的な視点が乏しいことを自覚する機会となることが分かった。
	研究の考察・反省	大学におけるキャリア教育は大学設置基準の改定を受けて量的に拡大されてきているものの、専門家教員の不足や授業内容の幅広さなどキャリア教育のあり方をめぐる論議が続いている。そうした中で、本研究は大教室でのキャリア教育科目の目的や内容について、学生の思い込みからの脱却を促すという新しい視点を提示することができた。また「死ぬまでにやりたいこと」を問いかける試みは、キャリア教育科目に限らず様々な授業の中で学生にキャリアについて考える機会を提供していくためにも活用できる可能性があるが、問いかけによって学生に意識の変化が生じるのか、あるいは学生の回答と中高年の回答に違いがあるのかなど、さらに分析・考察を行って、有用性を検証する必要があると考えている。
研究発表 学会名 発表テーマ 年月日/場所	研究成果物 テーマ 誌名 巻・号 発行年月日 発行所・者	※この欄は、本報告書提出時点で判明している事項についてご記入ください。 「思い込みの轍からの脱却を促すキャリア教育 ～履修学生の反応の分析をもとにした一考察～」 『教師教育と実践知』第5巻 2020年6月 日本大学文理学部教職センター